

わきのしま

平成26年7月1日
多治見市立脇之島小学校
学校報 第4号

授業参観・学年懇談会へのご参加ありがとうございました。

6月26日(木)に、授業参観・学級懇談会を行いました。保護者の皆様には、平日にもかかわらず、ご多用の中、多数のご参加をいただきありがとうございました。

子どもたちは、学習のルール（手をしっかりと挙げる、話す人の方を見て聞く）を大切にしながら、真剣に取り組みました。また、楽しく親子で制作をしたり、顕微鏡で微生物を観たり、笑顔一杯で生き生きとした姿が多く見られました。子どもたちは、保護者の皆様に限らず誰かに見ていただくことで、さらに力を発揮するようになります。きっと見られているという緊張感を心地良く思っている児童が多いのかもしれませんが。



今後も、こうした子どもたちの頑張りを励まし、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

<お願い>

今年度、確認をしておりませんでしたので、申し訳ございませんが、今後以下のようにお願いいたします。

- ・授業参観等で学校へ来られる場合、できる限り徒歩でお願いいたします。
- ・授業中の写真撮影をご遠慮ください。

いろいろな場面で笑顔がいっぱい！

6月には、6年生の修学旅行、5年生の地球村合宿や4年生のふれあい昼食会など多くの行事がありました。そんな場面で子どもたちの笑顔がいっぱい見られましたので、ここで紹介します。

<6年生の修学旅行>

6月12・13日、暑くもなく寒くもない快適な気候の中で奈良・京都の修学旅行へ行ってきました。数多くの歴史的建造物に感動する旅行でした。京都タワーでは、クラス全員が円陣を組んで「1年間、がんばるぞー!」「オー!」と笑顔で気合いを入れました。



<5年生の地球村合宿>

6月5・6日、初日は雨の中で飯ごう炊飯、2日目は天候に恵まれオリエンテーションなどを行いました。みんなで活動する中で、時間を意識し自ら進んで活動する姿に変わり、ルールを守って笑顔いっぱい生活していました。



<4年生のふれあい昼食会>

6月4日、地域の方々を招いて音楽発表・輪投げや風船バレーなどのゲームと昼食会を行いました。体育館では、地域の方々が子どもたちに負けないように全力でゲームに臨んでいました。子ども達や地域の方々の笑顔が印象的でした。



日	曜	7月行事予定
1	火	挨拶で絆の日 クラブ 5年英語活動
2	水	個別懇談
3	木	個別懇談 P本部運営委員会
4	金	個別懇談 歯科巡回指導
5	土	
6	日	
7	月	三者懇談 P見守り当番 (3・6年)
8	火	三者懇談 3・4・6年英語活動
9	水	救命救急講習会 (6年・職員)
10	木	5年着衣水泳
11	金	ワックスがけ Pベルマーク活動
12	土	P親子工作
13	日	
14	月	机入れ・床ふき 委員会 着衣水泳予備日 5年着衣水泳事後指導 アルミ缶回収
15	火	読み語り 図書返却
16	水	全校研究会 (6年1組)
17	木	5・6年ALT たじみ漢字チャレンジ 夏休み図書貸し出し
18	金	夏休み前集会 3・4ALT
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	プール開放
23	水	サマースクール 水泳教室 プール開放
24	木	サマースクール 水泳教室 プール開放 図書開館
25	金	水泳教室 プール開放
26	土	
27	日	
28	月	プール開放
29	火	プール開放
30	水	プール開放
31	木	プール開放

教育長訪問で

6月18日、教育長訪問に東濃教育事務所と多治見市教育委員会から総勢8名の方々が見えました。1年生から6年生のすべてのクラスの授業を見て、次のように感想を述べてみました。

- ・子どもたちが明るい表情をしていました。
- ・落ち着いて学習しています。
- ・低学年は元気よく、学年が上がるに従ってしっとりした学習ができています。子どもたちの年齢による発達に沿った正しい生活ができています。
- ・子どもたちの笑顔がとても印象的でした。また、その笑顔が写真や掲示物など至るところで見えました。
- ・子どもたちが、安心して生活しています。

上記のように教育委員会の方々からお褒めの言葉を多くいただきました。これも保護者のみなさ方の子育ての成果だと感謝しております。今後ともよろしくお願ひいたします。



子どもは親（家族）の するようにする

多治見市教育委員会

「子どもは親（家族：以下同じ）の言うとおりにほしくないが、親のするようにする」「うちの子はなかなか言うことをきかなくて」という親さんの話を聞く時がありますが、はじめの言葉にその対応へのヒントがあるように思います。

子どもに言うことをきかせようと、がんばってしまいがちですが、ちょっと見方を変えてみてもよいかもしれません。親さんが、学校行事や



PTA 行事などに参加するなど、子どものために取り組んでいる姿から、参加されたり見聞きされたりした良い経験を子どもに伝えることからも、子どもが学ぶことも多いはずで